

中国人留学生の日本語学習における困難

—漢字・ひらがな・カタカナの習熟—

陳 西梅*・坂西 友秀**

I. 目 的

大学における教育・研究の国際交流は、年々盛んになってきている。とりわけ、中国・韓国・インドネシアなどのアジア諸国からの日本の大学・大学院への留学生が増加している。埼玉大学を例にとると、外国人留学生の入学者数は、1989年度が私費外国人留学生8名、マレーシア政府派遣留学生1名、1990年度が私費外国人留学生9名、インドネシア政府派遣留学生1名、1991年度が国費外国人留学生2名、インドネシア政府派遣留学生1名、私費外国人留学生11名となっている。年をおって留学生が増えている(埼玉大学入試管理委員会、1989, 1990, 1991)。また、埼玉県内にある各大学(総数28校)の外国人留学生の数は、大学1420名、短期大学36名で、合計1456名である(埼玉県留学生交流推進協議会、1990)。その内訳は、大学院生176名、学部生1066名、研究生・聴講生・研修生等214名となっている。なかでも、留学生数の多い大学は、東洋大学260名、東京国際大学228名、大東文化大学201名、埼玉大学197名、城西大学196名などである。

国際交流の隆盛につれ、留学生の日本文化・生活への適応や日本語の習得を積極的に援助することが大きな課題になってきている。こうした教育・研究の国際交流に呼応する形で、近年留学生の日本における心身の適応過程を明らかにする研究が行われている(長井、1988,

1990; 金, 1990)。長井の研究は、外国人交換留学生高校生の日本における適応過程を、心身の健康や受け入れ家庭・学校での日常生活の面から調査したものである。一方、金は、朝鮮学校の生徒・学生を対象に、朝鮮語と日本語を二語併用して教育する場合の、両言語の干渉を実験的に検討している。

日本語に習熟することは、日本文化や生活を理解し適応するための最も重要な第一歩となる。日本で学ぶ外国人は多様な国籍を持ち、学習を進めるうえでの事情もそれぞれに異なる。その中で、中国人留学生は、日本語の学習を進めるうえで特殊な環境に置かれていると考えられる。なぜならば、中国語は漢字から成り、日本語もまた中国から取り入れた漢字を重要な構成要素として成り立っているからである。中国語と日本の漢字との間には、表記上、意味上、そして読み方のうえなどで共通部分が少なくないのである。しかし、同時に両者は異なる言語である。これは、他のアジア、欧米諸国からの留学生と中国人留学生の学習環境に大きな違いをもたらす特徴的な点である。

本研究では、今まで取り上げられることの少なかった、中国人留学生の日本語学習上の困難を、調査を通じて明らかにすることを目的とする。

II. 研 究 1

1. 目 的

日本語学校に在籍し、日本語の初学者である中国人学生が、日本語を習得する過程で感じて

* 埼玉大学大学院教育学研究科学校教育専攻教育心理学専修

** 埼玉大学教育学部教育心理学科

いる困難な点を明らかにする。とりわけ、ひらがな、カタカナ、漢字の文字の違いによって学習上の困難さに違いがあるのか否かを明らかにする。

2. 方 法

(1) 調査の内容・調査票の作成

滞日期間が短く、日本語の習得が十分ではない留学生が多いことを考慮して、理解しやすく、回答が容易な簡潔な調査票を作成する。調査の主な内容は次のとおりである(付表1, 2)。①日本語の学習を始めた国、②日本語の学習を始めてから何か月経つか、③ひらがな、漢字、カタカナそれぞれについて、「読む」・「書く」・「聞く」の中で最も難しいと思うもの、④日本語が上達する最も有効な学習方法、⑤今までに受けてきた学校教育の年数。これらの項目を配置し、一枚の調査票を作成した。

(2) 調査方法

調査対象：埼玉県内の日本語学校に在籍する中国人学生45名と東京都内の日本語学校に在籍する中国人学生34名の計79名である。

調査期日：1990年10月～11月。

調査の実施：各日本語学校に著者が赴き、学生に調査票を配布した。記入上の注意を徹底し、調査への協力を要請した。調査回収日を指定し、後日学校を通じて著者が回収した。

3. 結果と考察

中国人留学生が、どのような点で日本語学習に困難を感じているかを明らかにするために、回答を単純集計する。なお、「ひらがな」・「カタカナ」・「漢字」・「かな漢字混じり」の異なる文字種間の学習に困難さの違いがあるか否かも検討する。また、日本語の初学者にとって、性差が重要な要因になるとは考えにくいことから、考慮しないことにする。

(1) 日本語学習上の困難

日本語学校に通学する中国人学生が、本国で受けた教育期間を整理したものが表1である。14年間で最も多く、16年間、12年間と続いている。就学期間が幅広くなっている理由に、1966

年以来の文化大革命による学校教育改編がある。例えば、当時の北京市内の学校教育は、一般に初等科5年間、中等科・高等科6年間の通算11年間となっていた。しかし、さまざまな事情から(例えば、中学生数が多いため等)、初等教育5年間終了後1年間は中学校へ移らず、そのまま小学校に留まり中等教育を受けることが多かった。一般的に文革期には就学年数が流動的であった。その後、中等科2年生から中学校で教育を受け、高等科まで一貫教育となる。なお、大学教育は1977年まで行われず、文化大革命終了の翌年1978年より復活している。以後初等科・中等科は6・3・3制に移行している。こうした事情を考慮すると、留学生の在学年数は長期にわたっているものの、高校卒業者が多いものと思われる。

ところで、中国人留学生が、日本語の学習を開始した場所は、中国44.87%(35人)、日本55.13%(43人)である。来日して始めて日本語の学習を開始した人が半数以上を占め、中国で始めた人を1割程度上まわっている。

さらに、日本語の学習を始めてからどのくらいの期間になるかまとめたものが表2である。日本語の学習を始めてから2年未満の人が、7割以上である。初学者を対象とするのが日本語学校であるから、妥当な結果であろう。

次に、彼らが、日本語を学習する上で難しいと感じる点をまとめたものが表3である。3割前後の学生が、最も難しいのは「読む」と「聞く」であるとし、それぞれを単独に選択している。異なる文字種間の比較をすると、「漢字」と「かな漢字混じり」の単語・文を読むことが最も難しく、回答率は前者で5割を越え、後者でも4割を越えている。さらに、カタカナについては、「書く」ことが最も難しいと回答する人が3割いる。また、「読む」と「聞く」ことが難しいと感じている人は比較的多く、それぞれの選択技の単独選択率は2割～3割となっている。漢字が中国語と共通の性質を持つとはいえ、必ずしも学習が容易になるとは限らないことを示している。ひらがなは、読んだり書いたりすることはそれほど難しいと感じていないよ

表1 学校教育を受けた期間

教育期間	受けた人の割合 (%)
10年間	9.09
12年間	24.68
13年間	1.30
14年間	31.17
15年間	2.60
16年間	27.27
18年間	3.90
人数 (%)	77(100.00)

表2 日本語の学習を始めた時期

開始時期	人数 (%)
6ヶ月未満前	10(12.98)
半年前	16(20.78)
1年前	13(16.88)
1年半前	18(23.38)
2年前	10(12.99)
2年以上前	10(12.99)
計	77(100.00)

表3 日本語を学習するうえで感じる困難 (%)

単語の種類	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
	ひらがな	10.42	16.67	62.50	0.00	4.17	2.08	
カタカナ	18.52	31.48	27.78	1.85	5.56	3.70	11.11	54/100
漢字	54.84	9.68	9.68	1.61	11.29	3.23	9.68	62/100
かな漢字混じり	40.32	11.29	20.77	0.00	6.45	3.23	17.74	62/100
(%)	32.74	16.81	28.32	0.87	7.08	3.10	11.06	226/100

表4 日本語学習開始時期と日本語学習上の困難 (%)—ひらがな—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
1年未満前	0.00	6.25	81.25	0.00	6.25	0.00	6.25	16/100
2年未満前	17.65	17.65	58.82	0.00	5.88	0.00	0.00	17/100
2年以上前	7.69	30.77	46.15	0.00	0.00	7.69	7.69	13/100

うであるが、6割以上の方が聞き取りの難しさを指摘している。この点でひらがなは、「読む」、「書く」、「聞く」のすべての点で理解しにくいとする回答の多いカタカナとは対照的である。ひらがなもカタカナも漢字と異なり、中国人にとってまったく新しい外国語である。ひらがなとカタカナはいずれも漢字を崩して簡略化したり、作りの一部を取り出したりしてでき上がっている。その意味では両者とも類似の成り立ちをもっている。それにもかかわらず、両文字の学習上の困難さが質的に異なることが示唆された点は興味深い。

(2) 日本語学習の期間と学習上の困難

表4～表7は、今までに日本語を学習してきた期間の長さの違いにより、学習上感じる難しさに違いがあるか否かを見るものである。まずひらがなについてみると、初学者のほとんどが、ひらがな文字と対応させて聞きとることが難しいと答えている(表4)。学習年数が長くなるにつれて「聞く」ことは容易になり、1年未満の人では8割であったものが、2年未満の人では5割、2年以上の人では4割になり、半減している。その一方で、「書く」ことは、必ずしも学習期間に応じて容易になっていない。書くことは文字の再生過程であり、より多くの習熟

を必要とすることと、より難しいレベルへと学習者が進んでいることにもよると思われる。カタカナについても、「聞く」ことは学習期間が長くなるにつれて少し容易になるようである。しかし、「読む」ことと「書く」ことは期間の長短にかかわらず、全体として3割前後の人が難しいと感じている(表5)。表6は、漢字についてまとめたものである。5割前後の留学生が、漢字の「読み」は最も難しいと回答している。学習期間の長短は関係していないことがわかる。また、漢字を難しいと感じる学生の比率は、カタカナやひらがなに比べて著しく高くなっている。これらは注目に値することである。さらに、かな漢字混じりの単語や文について整理したものが表7である。漢字と同様に「読む」ことが難しいと回答する割合が4~5割あり、かなり高い比率になっている。「読む」、「読む・聞く」、「読む・書く・聞く」を合わせ

るとさらに比率は高くなり、6割にも達する。中国人留学生にとって漢字には、ひらがなやカタカナとは異なる学習上の困難があることがわかる。

(3) 就学年数と日本語学習上の困難

留学生が本国で学校教育を受けてきた年数と日本語を習得する上で感じる困難とをクロスさせたものが表8~表11である。サンプル数が少なく試験的な分析である。また、あらかじめ就学期間と日本語学習上の困難との間に因果関係を仮定するものでもない。

ひらがなについてみると、12~15年間の学生で、「読む」ことが一番難しいと回答する割合が高く、16年間以上の学生で「聞く」ことが難しいと回答する割合が高い(表8)。カタカナについては、全体的に見ると、就学年数による回答率の大きな違いはない(表9)。漢字では、就学年数12年間以上の学生で「書く」ことが難しい

表5 日本語学習開始時期と日本語学習上の困難(%)—カタカナ—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
	1年未満前	11.11	33.33	27.78	5.56	5.56	0.00	
2年未満前	23.53	35.29	29.41	0.00	0.00	5.88	5.88	17/100
2年以上前	23.53	29.41	17.65	0.00	11.76	5.88	11.76	17/100

表6 日本語学習開始時期と日本語学習上の困難(%)—漢字—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
	1年未満前	45.00	10.00	15.00	5.00	5.00	5.00	
2年未満前	62.50	8.33	4.17	0.00	16.67	0.00	8.33	24/100
2年以上前	52.94	11.76	11.76	0.00	5.89	5.89	11.76	17/100

表7 日本語学習開始時期と日本語学習上の困難(%)—かな漢字混じり—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
	1年未満前	38.10	14.29	19.05	0.00	4.76	4.76	
2年未満前	40.91	0.00	31.82	0.00	4.55	0.00	22.73	22/100
2年以上前	47.06	23.53	5.89	0.00	5.89	5.89	11.76	17/100

と感じるものが多くなっている(表10)。かな漢字混じり文については、就学年数の違いによる回答率の差はそれほど大きくない(表11)。

(4) 日本語を上達させるには

日本語を上達させるための有効な手だてについては、「日本語学校の授業を受けること」が58.97%、「アルバイトなどで社会に接すること」が44.87%となっている(表12)。自習の有効性はあまり認められていない。日本語学校で習う日本語と、実生活で使われる日本語の間に

違いがあることが、「実際に社会と接すること」を高く評価することにつながっている。しかし、留学生にとって、日本語学校は日本語習得のための重要な役割を担っていることがわかる。

(5) 日本語学習の難しさ—具体例—

日本語を学習するとき、漢字やカタカナが難しいと回答する学生が多かった。では、どのような点で難しいと感じるのであろうか。その理由・内容を整理したものが表13である。学習しにくいと回答する割合の高い漢字では、「漢字

表8 学校教育を受けた年数と日本語学習上の困難(%)—ひらがな—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
10年間	0.00	33.33	66.67	0.00	0.00	0.00	0.00	6/100
12~15年間	17.24	13.79	58.62	0.00	3.45	3.45	3.45	29/100
16年間以上	0.00	20.00	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10/100

表9 学校教育を受けた年数と日本語学習上の困難(%)—カタカナ—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
10年間	28.58	28.58	42.86	0.00	0.00	0.00	0.00	7/100
12~15年間	16.13	35.48	25.81	3.23	3.23	6.45	9.68	31/100
16年間以上	25.00	33.33	16.67	0.00	8.33	0.00	16.67	12/100

表10 学校教育を受けた年数と日本語学習上の困難(%)—漢字—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
10年間	85.71	0.00	14.29	0.00	0.00	0.00	0.00	7/100
12~15年間	52.94	17.65	5.88	2.94	8.82	5.88	5.88	34/100
16年間以上	56.25	0.00	6.25	0.00	18.75	0.00	18.75	15/100

表11 学校教育を受けた年数と日本語学習上の困難(%)—かな漢字混じり—

開始時期	読む	書く	聞く	読む 書く	読む 聞く	書く 聞く	読む 書く 聞く	人数/%
10年間	57.14	14.29	28.57	0.00	0.00	0.00	0.00	7/100
12~15年間	37.84	16.22	21.62	0.00	2.70	2.70	18.92	37/100
16年間以上	43.75	0.00	18.75	0.00	18.75	0.00	18.75	16/100

の中には、中国語と同じ字形・同じ意味を持つものがある」こと、「漢字の読み方と中国語の読み方を混同しやすい」こと、さらには「漢字には音読みと訓読みがあり、その区別の仕方が

難解である」ことなどが、学習を妨害する大きな原因になっていることがわかる。

また、「カタカナは、日本語に独特の文字であるにもかかわらず、読み方は、バッグ、ボール、カメラなどのように、外国語と類似の読み方をすること、「文字は幾何学的ともいえる形態をしており、語頭と語尾の区別がつけにくい」ことなどが、学習上の障害になっているようである。しかし、漢字やカタカナに比べて、難しいという回答が少なくなっているひらがなでも、学習を混乱させる要因がいくつか指摘されている。例えば、「長音や拗音の発音、あるいはその使用が難しい」こと、「助詞の使

表12 日本語が上達するための最も有効な学習方法 (%)

有効な学習方法	有効と思う人	人数 (%)
1 日本語学校の授業を受けること	58.97	68(100)
2 アルバイトなどで社会に接すること	44.87	78(100)
3 自学自習	17.95	78(100)

表13 日本語学習上の困難点—具体的内容例—

- ひらがなはまだ慣れていないから難しい
 - ひらがなの助詞がいつも異なる (いろいろ変化する) ので難しい
 - ひらがなは中国人にとってはまったくの外来語
 - ひらがな・カタカナでは、例えば「うんどう」や「じどうしゃ」などのように、長音 (のばす読み方) や拗音が難しい
 - 「ば、び……」などの清音と「ば、び……」などの濁音の区別がしにくい
-
- カタカナは日本語の発音ルールではない (外来語読みをする) ので難しい
 - カタカナは、どちらから見ても (語頭から見ても語尾から見ても同じよう) 難しい
 - カタカナは半分は英語で、半分は日本語である (例えば、バナナは、読み方は英語読みであるが、表記は日本文字である)
 - カタカナはあまり使わないので慣れていない
 - カタカナは外来語、特に英語に使われることが多いが、英語の発音と同じ訳ではない (日本語で発音するのか、英語で発音するのかかわりにくい)
 - カタカナは意味を取るのが難しい
-
- 日本語の漢字の発音と中国語の発音を混同しやすい
 - 漢字やかな漢字混じりは覚えにくい
 - ある漢字は中国語と同じであるが、ある漢字は異なりややこしい
 - 漢字の発音が難しい。読み方が中国語と違い難しい
 - 漢字は外形から意味がわかると、発音が面倒になってそのまま通してしまい、覚えなくなってしまう
 - かな漢字混じりの単語では、送りがながどこからなるのかわからない (行う? 行なう?)
 - 漢字の意味は中国語と同じでも、発音が違う
 - 漢字は読みにくい、特に人名や地名は
 - 漢字は中国語と混同しやすい
 - 漢字の音読と訓読が区別しにくい
 - 字体が繁雑 (中国語は略字体になっているので、逆に日本語は難しい)
 - 同音異義語は難しい
 - 漢字の外形が中国語と同じでも、読み方が異なる
 - 一つの漢字でも読み方がいろいろあり、どちらの読みを使うかよくわからない
-
- 学校で習った日本語と、実際に応用するときとは違いがある
 - 日本語は話すとき難しい
 - 学校で習う日本語と実際の生活の中で使う日本語の違いがある
 - 濁音が多い

用や変化のさせ方が難しい」ことなどがあげられている。日本語を習得する上で障害となるこれらの要因は、日本語を第1言語とする日本人にはなかなか気づきにくい点である。外国人が日本語を習得する場合、漢字・ひらがな・カタカナの3種の文字に習熟しなければならない。さらに文章表現する場合にはそれらを組み合わせて記述・使用することになり、理解は一層難しくなる。我々は、中国語と共通の性質を持つ漢字は、中国人にとって学習しやすいと考えがちである。しかし、両言語が、類似の要素を持ちながらも、多くの異なる要素を同時に持つことは、学習に対する負の干渉効果をもたらし、習熟するまでに多くの努力と時間を必要とさせることになる。本調査から、中国人留学生にとって、日本語、とりわけ漢字の学習は難しい面を持つことがわかった。

Ⅲ. 研究 2

1. 目的

中国人留学生にとって、ひらがなやカタカナの学習以上に漢字は難しいことが明らかになった。そこで、日常使用される漢字で、彼らが学習するのに難しいと感じているものを明らかにする。

2. 方法

(1) 調査内容

中国人留学生が日常接する漢字で、学習することが難しいものを書き出す。

(2) 調査方法

調査対象：在日中国人留学生20名。

調査期日：1990年12月。

調査の実施：中国人留学生に著者が個別に会い、面接を行った。そして、日常使用するまたは触れる漢字で、学習しにくいものを思いつままま自由に書き出すよう要請した。

3. 結果と考察

表14は、留学生が日頃接する漢字の中で、学習しにくいものをまとめたものである。彼らが

表14 習得が難しいと感じる漢字

休憩	地球	年内	案内
交換	文字	免税品	衣類
人間	礼儀	自然	三
準備	設備	海外	海鮮
廣東	材料	新発表	電池
野球	即席	教育	体育
討論	言論	全面	

学習しにくいと感じる漢字は、研究1であげた理由に合致するものである。面接時に得られた被験者からの説明でも、研究1のそれとほぼ同様の理由が述べられた。

4. まとめ

在日中国人留学生のほとんどは、日本語の学習は難しいと感じている。日本語と中国語には、いくつかの共通の特質がある。例えば、漢字は、綴りや意味の点で中国語と似通っていることがしばしばある。しかし、同時に多くの場合、それらの漢字の読み方は、中国語と大きく異なっている。また、中国語自体が、現在簡略化され、旧来の字体と大きく異なってきたり、むしろ日本で使われている漢字の方が繁雑になっている。両言語のこうした類似と差異が、中国人留学生の効果的な学習を妨害するのである。さらにカタカナやひらがなは日本のみで用いられる独特の文字である。外国人留学生は、3種の異なる文字、すなわち漢字、ひらがな、カタカナを理解しなければならない。そのため、彼/彼女らが日本語をマスターするためには多くの時間と努力を必要とするのである。

引用文献

- 金 徳龍 1990 二言語併用児の言語干渉に関する研究—朝鮮学校の生徒・学生の場合— 教育心理学研究 38, 205-212.
- 埼玉県留学生交流推進協議会 1991 埼玉県内のキャンパスに通学する留学生一覧 けやき (埼玉県留学生交流推進協議会事務局) 第2号 6-7.
- 埼玉大学入学試験管理委員会 1989 過去の入試状況 埼玉大学案内—大学の概要・学部の紹介・就職状況・過去の入試状況— (埼玉大学) 42.

3. 请累积一下您日语学习的月数（从五十音图的学习开始计算，到现在）

（注：20小时／每周 × 4 = 80小时／每日→作为一个月数）

答：积累月数1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.

16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24.

4. 您认为日语学习中最难的是什么？

答：平假名词汇的： 读、 写、 听、

片假名词汇的： 读、 写、 听、

平假名和汉字混合词汇的： 读、 写、 听、

纯汉字词汇的： 读、 写、 听、

5. 您认为使您感到困难的原因是什么？（此问请您简单写一下）

答：平假名：

片假名：

假名、汉字混合：

纯汉字：

6. 您到日本后，使日语进步最快的是哪种形式的学习？

答：日语学校的课堂学习

打工等社会接触的学习

自学

7. 您的个人兴趣是什么？

答：文学、 体育、 音乐、 美术、 其它

8. 您在中国的学校教育时间是多少年？

答： 10年 12年 14年 16年 18年

附表2

この調査は、外国人留学生、特に中国人留学生が、日本語を学習するときどのような点で難しいと感じておられるかを調べるためのものです。現在日本語の学習を進めておられる皆様には是非とも御協力いただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。あなた自身の経験に基づいて、下記の質問項目にお答えください。選択肢のある質問は、自分に最もよくあてはまると思うものを選び○印をつけてください。それ以外の質問には、あなた自身の考えていることを自由に御記入ください。この調査は、あなたが就学している学校の成績などとは一切関係がありませんし、御迷惑をおかけすることはありませんので、率直にお答えください。

教育心理学科

次の項目についてあなた自身にあてはまるところに○印をつけてください。その他のところには、あなた自身の考えをお書きください。

1 あなたは、日本語の学習をどこで始めましたか。

中国

日本

- 2 あなたは日本語の学習をどのくらい前から始めましたか。
 ()ヶ月前, 半年前, 1年前, 1年半前, 2年前, ()年前
- 3 あなたが今までに日本語を学習してきた期間はどのくらいですか。月数でお答えください(注: 20時間/週×4=80時間/月→1ヶ月とする)。
 月数: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24
- 4 あなたが日本語を学習するうえで、最も難しいと感じるのはどれですか。それぞれの項目について自分の考えに最もよくあてはまる選択肢を選んでください。
 ひらがなの単語の: 読む 書く 聞きとり
 カタカナの単語の: 読む 書く 聞きとり
 漢字混じり単語の: 読む 書く 聞きとり
 漢字の単語の: 読む 書く 聞きとり
- 5 日本語が難しいと感じる原因はどのようなものですか。それぞれについて原因を簡単に書いてください。
 ひらがなについて:
 カタカナについて:
 漢字混じりについて:
 漢字について:
- 6 あなたが日本に来てから、日本語が上達する最も有効な学習手段だと思うものは次のどれですか。
 日本語学校の授業を受けること
 アルバイトなどで社会に接すること
 自学自習すること
- 7 あなたが興味をもつもの、趣味は何ですか。次の項目のあてはまるものに○印をつけてください(いくつでも可)。
 文学, スポーツ, 音楽, 美術, その他
- 8 あなたは中国で何年間学校教育を受けてきましたか。次の項目のあてはまるものに○印をつけてください。
 10年間, 12年間, 14年間, 16年間, 18年間